



# 満天の星

令和7年2月14日

村上市立神納小学校

学校だより2月号

ホームページ・ブログ随時更新中



## 困難に立ち向かう力は、失敗からしか学べない！

校長 見原 恵

一年で1番寒い季節を迎えています。イギリスの詩人、パーシー・ビッシュ・シェリーの言葉で、「冬来たりなば 春遠からじ」という言葉があります。これは厳しい冬の後には必ず春が訪れるという自然の摂理を表しています。この言葉は、私たちに困難や試練を乗り越えた先にある明るい未来を信じる大切さを教えてくれます。

2月は、厳しい寒さの中にも花の芽が膨らんでいくように、新しい学年への進級や小学校卒業という節目が間近に迫っています。先日の学習参観では、それぞれの学びや活動の成果が見られ、子どもたちの発表に目を細められたのではないのでしょうか。そして、成長をかみ締められたのではないのでしょうか。これからは、お子さんにとって、新たなステージへ向けての準備を進める重要な時期です。しかし、神納小学校の子どもたちを見ると、「困難に立ち向かう」ことに苦手意識がある子どもが増えてきている様子が見られます。そんな子どもたちに是非、困難に立ち向かう力を保護者の皆様と一緒に育てていきたいと思っています。

「冬来たりなば、春遠からじ」や「失敗は成功のもと」「かわいい子には旅をさせよ」などの名言を調べていると、教育ジャーナリスト中曽根陽子さんの主張「困難に立ち向かう力は、失敗からしか学べない」が「なるほど、そういうことか！」と私の胸にスーッと入ってきたので、少し紹介させていただきます。

- 子どもに失敗させたくないというのは、我が子を守る親として当然の感情であり、親が持つ本能ともいえます。ただ、その感情の裏にあるのは、多くは親自身が「安心したい」という気持ちのように思うのです。
- 失敗の経験から子どもは多くのことを学び、たくましさを身につけていきます。
- 変化が加速していく時代の中を子どもたちはサバイバルしていかなければなりません。思いもかけない事態に直面したときにはなおさら、自分で判断し行動する主体性が重要です。それなのに、まったく失敗を経験しないまま大人になってしまおうと、ちょっとした困難にぶつかったただけでも挫折してしまうということになるでしょう。
- 困難にぶつかって一度はしょげてしまっても、そこから学び、再びその困難に立ち向かうようたくましさを、失敗を乗り越える経験からしか学ぶことができません。そして、その学ぶ場は学校などではなく、多くは家庭生活のなかにあります。だからこそ、親の対応が大切になるのです。
- 親元にいるときの子どもは失敗なんて、大人から見れば大したものではないはずですが、仮に失敗したとしても、人生が終わるといったことはありません。ですから、どんどん失敗をさせてあげましょう。そのなかで、子どもは失敗を乗り越える成功体験を積むことができる。そしてその体験が、のちに生きる知恵として力を発揮するようになるのです。

どうでしょうか。私も数え切れない程の失敗を繰り返してききました。「私、失敗しない度でも」は、テレビの中だけの台詞。今までは失敗していかないと言っている人はいない時代に入っています。是非、「失敗してもいいからチャレンジしよう！」とみんな背中を押しましょう。そして、見守りましょう！



校長室の花の蕾

## スポーツ委員会 ミニオリンピック



1月14日（火）の昼休み、スポーツ委員会主催でミニオリンピックを開催しました。種目は1人1周ずつアリーナを走りバトンを渡すリレーです。抜きつ抜かれつの走りに、大きな声でチームを応援する姿が見られました。

### スキー教室(5, 6年)

1月23日（木）に5, 6年生は胎内スキー場でスキー教室を行いました。去年は小雪のため、2年ぶりの実施となりました。そのため、今回が初めてのスキーだという子どもたちが多くいました。最初は、ブーツを履くことや歩くことにも四苦八苦する子や止まらずに友達に衝突するなどの様子が見られましたが、昼食前には、上手に曲がったり止まったりすることができるようになっていました。子どもたちの上達の速さには驚かされました。

保護者の皆様には、スキー教室に向けての準備にご協力いただきました。また、当日多くの方がボランティアとして参加してくださいました。皆様、本当にありがとうございました。



### 記録に挑戦、縄跳び記録会！

1月30日（木）に校内縄跳び記録会を行いました。3限に1～3年生、4限に4～6年生が行いました。この日に向け、15日から休み時間や体育の時間に回すスピードや跳ぶ順番などを考えながら練習を重ねてきました。



競技前に気合注入



大会当日は、どの学級もやる気十分。本番でも心を一つにして跳ぶ姿が見られました。結果発表では、目標を達成できず悔しがる学級、自己記録を更新して喜ぶ学級と悲喜こもごもでした。この大会をとおしてどの学級も友達との絆を深めることができました。今回の縄跳び記録会では、雪の降る寒い中、多くのお家の方が応援に来てくださいました。本当にありがとうございました。

1年1組…120回  
1年2組…113回  
2年 …110回  
3年 …193回



4年 …214回  
5年 …190回  
6年1組…263回  
6年2組…259回

# 1. 2年生 雪遊び

1月15日(水)に、1, 2年生が生活科の学習としてエベレストで雪遊びをしました。初めのうちは、友達が背中を押して足でこぎながらそりを滑らせていましたが、ゲレンデができあがると、どんどんスピードが出て、歓声を上げながら楽しんでいました。寒さに負けず、雪に親しんだ子どもたちでした。



# 6年生 笹団子作り



1月21日(火)、6年生は「ゆりの会」を指導者に迎え笹団子作りをしました。生地と餡は作ってきていただいたため、団子やあんを丸めることからスタートしました。笹をすげで巻く作業に悪戦苦闘する姿が多く見られましたが、どの子どもも一生懸命作っていました。ゆりの会のみなさんが子どもたちに優しく教えてくださったおかげで蒸し上がった笹団子はあんのほみ出しもほとんどありませんでした。ゆりの会の皆様、ありがとうございました。

# 学習参観、保護者全体会、学年懇談会 ありがとうございました



2月5日(水)に学習参観と保護者全体会、学年懇談会が行われました。どの学級も一年間の成長や学習のまとめをお家の方に発表することができました。また、保護者全体会では約70名の方に参加していただきました。その後の学年懇談会でも多くの方に参加いただき、子どもたちの様子について情報共有することができました。皆様、ありがとうございました。



## 6年生を送る会に向けて

2月28日の「6年生を送る会」に向けて、1～5年生の子どもたちは、5年生を中心に招待状や垂れ幕、アリーナに飾る掲示物などを各学年で作成しています。

1月30日（木）には代表委員会を開き、6年生を送る会のスローガンを決定しました。

みんなの感謝の気持ちが6年生に伝わる会になるとよいです。



【代表委員会の様子】



★各種コンクールでたくさんの賞をいただきましたので、紹介します。

### 新大全国書き初め大会

準特選 5年…石栗 杏慈さん



### 新潟県書き初め大会

#### 【硬筆の部】

特選… 1年 松浦 綾汰さん

準特選… 1年 内山 稜己さん 八藤後 見織さん 木村 心乃さん

#### 【毛筆の部】

準特選… 3年 渡邊 杏美さん 6年 磯部 結稀さん

### 村上地域の「未来に向けてつなげよう木育」事業 標語・絵画コンクール

#### 【標語の部】

奨励賞… 4年 横山璃光さん「木がいっぱい どしゃさいがいを ぼうしする」

#### 【絵画の部】

最優秀賞… 6年 鈴木さくらさん

優秀賞 … 6年 近 桃葉さん

奨励賞 … 6年 小田あかりさん 大矢 心春さん 横山 陽音さん

※2月19日（水）～3月5日（水）までウオロク村上店で展示されます。



3日（月）全校朝会

7日（金）委員会、卒業式練習①

10日（月）期末大清掃①

12日（水）卒業式予行練習  
期末大清掃②

14日（金）地区子ども会  
期末清掃③

17日（月）給食最終日 4時間授業

18日（火）3時間授業

19日（水）3時間授業

21日（金）終業式

24日（月）卒業証書授与式

25日（火）離任式、学年末休業